

1 庁内意見募集

頁・行数	表題	意見	修正前	修正後（提案内容を反映）
全体		字句修正	全体通して軽微な字句修正（内容に影響なし）	
P 1 7行目	1 行政改革の目的	現在策定中の7次総計では、戦略5において「デジタル技術で住みよい明日を切りひらく」としている。行革大綱の中で、デジタル技術の活用について、積極的に触れていくべきではないか。 ※幹事会意見	そこで、____社会情勢や時代の変化に対応しながら・・・	そこで、 デジタル技術の進展など 、社会情勢や時代の変化に対応しながら・・・
P 8 16行目	6 窓口サービスの向上	公金収納、支払いに関する金融機関の振込、収納手数料が有料化される見通しであり、今後、経費削減の観点から、収納に関しては振込用紙から電子マネー、バーコード決済等への転換へ、支払いに関しては伝票処理の集約やインターネットバンキングの活用などの効率化が求められるようになる。システム導入も含め、全庁的な業務の見直しが必要になると思われることから、行政改革の初心（行政事務改善（昭和35年度～）・伝票会計制度導入）に立ち返り、取組方針に要素を加えてはどうか。	・・・できるよう、更なるオンライン化を <u>進めていきます</u> 。・・・	6 窓口サービスの向上 ・・・できるよう、更なるオンライン化を進めるとともに、 電子決済の活用など時代に即した公金収納のあり方について検討 していきます。
P 8 21行目	7 業務効率化の推進	保存文書はこれまでも適正に取扱ってきたもの。今回の計画では、庁舎の建て替えに合わせて取扱いの検討を行うことについて、わかりやすく記載してはどうか。	また、____保存文書の <u>適正な取り扱い</u> について検討していきます。	7 業務効率化の推進 また、 会計処理の効率化や本庁舎の建て替えを見据えた保存文書の取扱い について検討していきます。
P 8 22行目				
P 9 23行目	10 事務事業の見直し	字句修正	限りある人的資源を <u>効果的</u> に活用する	限りある人的資源を <u>効率的</u> に活用する

2 江別市行政改革推進委員会

頁・行数	表題	意見	修正前	修正後（提案内容を反映）
P 7 11行目	2 市民参加機会の充実と協働の推進	「協働」というキーワードが重要視されているが、江別市が考える「協働」についての定義を注釈などで示すと分かりやすい。		取組方針2の説明文の下に、市民参加と協働の定義を掲載する。
P 8 6行目	3 人材育成の充実	前大綱では基本目標2「意識と能力の高い職員による柔軟な行政運営」として、職員に向けた内容が特記され、メッセージ性が分かりやすかった。大綱の文言には、 <u>職員のモチベーションをあげるような文言を盛り込むことに留意した方が</u> 良い。	「引き続き、職員の能力を十分に発揮できるような仕組みや積極的に自己啓発に努めることができる環境を整えます。」	「引き続き、職員が個々の能力を十分に発揮できるような仕組みや積極的に自己啓発に努めることができる環境を整えるほか、 管理監督者の資質向上に努めます。 」
P 8 13行目	4 働きやすい環境づくり		「そこで、職員の多様な働き方について検討するとともに、のワークライフバランス（仕事と生活の調和）の確保の観点から、時間外勤務の縮減や、休暇等が取得しやすい体制づくりに努めます。」	「そこで、職員の多様な働き方について検討するとともに、職員のワークライフバランス（仕事と生活の調和） が取りやすい職場風土となるよう の確保の観点から、時間外勤務の縮減や、休暇等が取得しやすい体制づくりに努めます。」
<p>○大綱の修正には至らないが、その他のご意見・ご感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大綱（案）全体を通して分かりやすい内容になっていた。 ・「人材育成」や「公民連携手法」に関連して、市職員が民間企業と交流人事を行うことはお互いにとって得られるものが大きく、有意義である。 ・大綱（案）は基本目標や取組方針を減らし、分かりやすくなるメリットがある一方で、内容があいまいになるというデメリットもある。 ・市民への情報提供の際には、HPやSNSが苦手な人もいるため、そのような人にも情報提供ができるような手法を取り入れてほしい。 				